

ペルサハーン・ガス・ネガラ(PGAS)

エネルギー相場の高騰を追い風に上流部門が好調。積極的な設備投資により生産・流通インフラの拡大を加速
 インドネシア | 公益施設網 | 業績フォロー

BLOOMBERG INTP:SP | REUTERS INTP.JK

- 2021/12通期は、売上高が前期比5.2%増、営業利益が同38.1%増、純利益が前期の▲2.65億USDから3.04億USDに黒字転換。
- エネルギー相場の高騰を追い風に、上流部門である石油・ガス採掘および生産事業が好調に推移したことが貢献。
- 2022/12期の設備投資支出額は前期比2.4倍の7.64億USDを計画。堅調な需要を背景に、生産・流通インフラ拡大を加速。

What is the news?

3/14発表の2021/12通期は、売上高が前期比5.2%増の30.36億USD、営業利益が同38.1%増の4.20億USD、EBITDAが同22.6%増の8.55億USD、純利益が前期の▲2.65億USDから3.04億USDに黒字転換となった。エネルギー相場の高騰を背景に、上流部門である石油・ガス採掘および生産事業が好調に推移したことが増収に貢献した。利益面では合弁事業からの持分法投資利益の増加等が寄与した。

主なセグメント別の通期業績は以下の通り。①主力の商業および輸送事業は、売上高が前期比0.3%減の26.95億USD、セグメント利益が同6.6%減の3.56億USD。天然ガスの取引量は増加したものの、外部企業へのガス輸送量が減少した。②石油・ガス採掘および生産事業は、売上高が同77.6%増の3.61億USD、セグメント利益が前期の▲6,658万USDから5,093万USDへ黒字転換。生産量が増加したほか、インドネシア原油価格が上昇したことが寄与。③その他オペレーション事業は、売上高が同23.3%増の3.20億USD、セグメント利益が同2.7%増の9,168万USD。

How do we view this?

同社の設備投資支出額は前期が3.09億USDにとどまったなか、2022/12通期計画は7.64億USDを目標に設定。スマトラ島ローカン川流域の原油輸送パイプライン開発、石油から製油所・発電所用ガスへの変換、都市ガス網整備等のプロジェクトに注力し、生産・流通インフラの拡大を進めるとともに、ガス輸送量を前期の1,352MMSCFD（百万立方フィート/日）から約1,383 MMSCFDへ、石油・ガスの積み込み量を前期の8.6MMBOE（百万バレル）から約9.1MMBOEへ、ガス分配量を前期の871BBTUD（十億英国熱量単位/日）から約1,038BBTUDへ増やす計画だ。

インドネシアの2021年の経常収支は、資源高と輸出の拡大により33億USDドルと、10年ぶりに黒字に転換。更にインドネシア統計局が2022年4月18日に発表した3月の貿易黒字は、2021年10月以降で最高を記録した。ロシアのウクライナ侵攻を背景に、主要輸出品である石炭、天然ガス等のコモディティ価格の上昇が追い風となった。豊富な資源を持つインドネシアの存在感が増す中、国内天然ガス最大シェアを持つ同社においても、生産・流通インフラ拡大を通じた重要度の高まりが期待されよう。

業績推移

※参考レート 1IDR=0.008988円、1USD=14,340IDR

事業年度	2019/12	2020/12	2021/12	2022/12F	2023/12F
売上高(百万USD)	3,848	2,885	3,036	3,338	3,395
当期利益(百万USD)	67	-264	303	268	311
EPS (USD)	0.00	-0.01	0.01	0.01	0.01
PER (倍)	51.99	-	7.41	9.73	7.48
BPS (USD)	0.11	0.09	0.10	0.11	0.12
PBR (倍)	1.48	1.28	0.93	0.87	0.82
配当(USD)	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00
配当利回り (%)	1.79	0.00	0.00	5.14	4.11

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

フィリップ証券株式会社

配当予想(IDR) **0.01** (予想はBloomberg)
 終値(IDR) **1,345** 2022/4/18

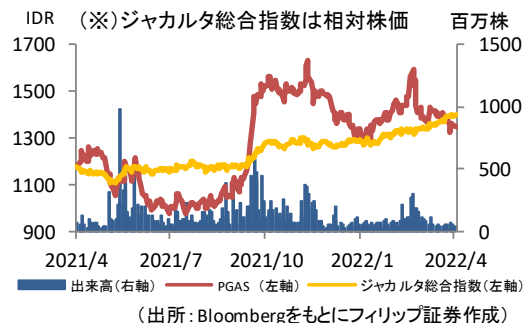
会社概要

インドネシアで最大のシェアを持つ天然ガス会社。設立は1965年だが、植民地時代からの1世紀半の歴史を有する。サプライヤーから調達した天然ガスを、発電所、産業プラント、商業施設、一般家庭向けに配給・輸送している。同社のガスパイプラインは総延長7,278キロメートルのほり、国土の78%を網羅している。

同社事業は、①主力である顧客へのガス配給およびパイプラインを他社に貸与し、シンガポール等にガスを提供する商業および輸送部門、②ガスや石油の採掘・生産を担う採掘・生産部門、③液化天然ガスの処理や光ファイバーのレンタル、建設・保守サービス、建物・設備のリースや管理を行うその他事業部門の3つの事業セグメントで構成される。

企業データ (2022/4/19)

ベータ値	1.79
時価総額(十億IDR)	33,817
企業価値=EV(十億IDR)	64,199
3か月平均売買代金(十億IDR)	119.9



主要株主 (2022/4)

1. プルタナ・ヘルセロ	56.96
2. VANGUARD GROUP	1.36
3. ブラックロック	0.94

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

山口 亮太
 ryota.yamaguchi@phillip.co.jp
 +81 3 3666 0707
 笹木 和弘
 kazuhito.sasaki@phillip.co.jp
 +81 3 3666 6980



【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘
日本証券アナリスト協会検定会員 山口亮太

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。